



創立152年

わにっこり

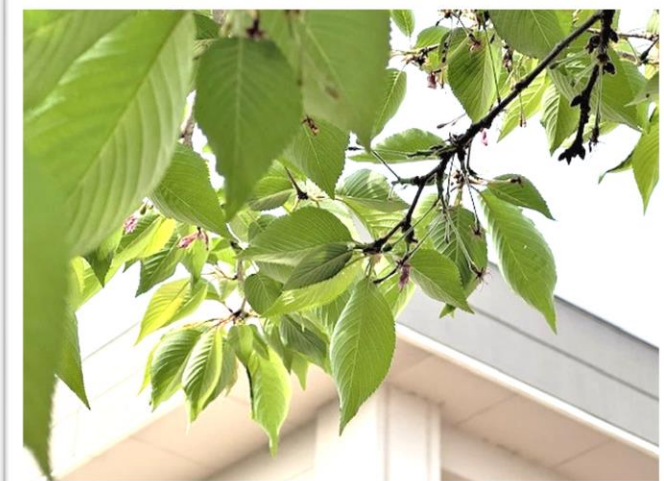
教育目標 わたしから考える子 にこにこ元気な子 つづけてがんばる子 こころを合わせる子

和邇小だより 令和7年 5月号

児童数377名 文責 澤村幸夫



新緑の5月



新入生を迎え1か月がたちました。新しい学年にも少しずつ慣れ、友だちと仲良く遊ぶ姿が見られるようになりました。4月の桜の色も心をウキウキさせてくれますが、5月の葉桜の色もこんなに新鮮で、私たちにもう1つの楽しみを与えてくれています。

和邇小学校に着任して4年目を迎えました。休み時間に校舎をまわっていると、たくさんの子どもたちが声をかけてくれます。学校であったこと、家で経験したことを私に教えてくれます。登下校時に正門の横断歩道のところでも、わざわざ気が付いたことを私に伝えてくれます。そうしたやりとりを私はたいへん嬉しく思います。この元気で人懐っこい姿の源は、もちろんそれぞれのご家庭で育まれてきたものであらうと思いますし、和邇ならではの「地域の温かさ」「地域のつながり」であらうと思います。

和邇小の先生方も今の時代にふさわしい教育の在り方について研究熱心で、最新を学んでいます。授業では、前を向いて指示どおりに静かに聞いてノートに記録する、といった旧来型ではなく、子どもの創意工夫を引き出す仕掛けが随所に見られます。一人一人がタブレット端末を操り、先生からの課題を受け取り、意見をまとめて発表し、それを他の児童と共有します。アナログも非常に大事ですが、今の世の中、ICT活用が必須となっています。保護者の皆様が小学校の頃の授業とは大きく変わっていますし、私が小学生だったころからは隔世の感があります。

学ぶ喜び

今世紀に入ってから世界ではタブレットコンピュータ、スマートフォン、You Tube、各種 SNS などが登場し、経済及びコミュニケーションの在り方をすっかり変えてしまいました。それに伴い、教育にも不断の改革の波が押し寄せるようになりました。小学校への英語教育の導入、道徳の教科化、GIGA スクール構想、デジタル教科書の登場など教師も子どもたちも新たな指導内容をマスターするために努力しています。

しかし、指導内容が膨らんでも、人間の処理能力は簡単には変わりません。変化の激しい世の中に対処できるよう、あれこれと指導するうちに、大切な「学ぶ喜び」が失われてしまわないかと心配になります。教育は、これを身に付けないうと将来たいへんなことになる、といった警告であってはいけません。時間をかけて学ぶことは楽しい、だから続けていく、といった気持ちを育てていかなければいけません。

学校には、失敗しても励まし合う子どもたちと先生方がいます。「学ぶ喜び」を共有し、その喜びを通して子どもたちが自律した学習者として育っていくことが大切です。保護者の皆様と協力しながら、これからも、励ましの教育を続けていきたいと思っています。



学校のディスカスのペア
本文との関連はありません。



和邇小学校では、毎月1回「人権の日」というものがあります。この日は、何か特別なことをする日というように感じるかもしれませんが、「人権」とは「私たちの生活すべて」のことを指します。食べて寝て、遊んで勉強して、そして誰もが元気に楽しく「自分らしく」生きていく、という意味です。大切なのは「誰もが」ということです。「自分が」だけでなく大人も子どもも「すべての人が」ということです。

人権の日は、自分のこと、友だちのこと、家族のことなどを考える時間です。放送を聴いたり、ビデオを視たりして、自分はどうしていったら良いか、クラスで話し合い、考えていきます。「人の気持ちが分かる」子どもを目指して継続していきたいと思っています。



4月23日(水)に全校避難訓練を実施しました。理科室から出火したという想定でハンカチを口にあて、避難しました。今回のめあては、避難経路の確認と「お・は・し・も・て」の基本行動を身につけることです。1年生から6年生まで、素早く安全に避難することができました。

火災に限らず、土砂災害、豪雨災害、山林火災、落雷、地震や台風など、今後起こりうる非常事態に備え、準備をしておくことが重要です。時

間帯も昼間とは限りません。各ご家庭におかれましても、いざという時の行動確認をお願いします。



アクアリウムを観ることで、人の脳内の波長が、レム睡眠時に見られるとても心地よいθ(シータ)波がでることが分かっています。アクアリウム水槽を観ているとその波の揺らぎや魚たちに癒されθ波がでるのです。

これは、38億年前から海の中で生きてきた生命の記憶が呼び起こされるものと考えられています。



私たちは70%以上が水で覆われている星に生まれ、母親のお腹の中で水に囲まれて生まれてきます。また、私たち人間のからだは60%が水です。

私たちのルーツは水にあり、人が命を保つために欠かせない「水」がある環境は本能的に安心するしくみになっています。美しい水のある場所には人が集まり、栄えます。

さらにθ波が出ることで人間の持つ自然治癒力の素であるNK細胞(ナチュラルキラー細胞)等の働きがより活発になり、アクアリウムを観ることで病気になりにくくなり、また病気が治りやすくなる事が分かっています。

私は、人間と密接な関係にある「水槽」を廊下に並べ、「癒し」を与えてくれる環境を作りたいと考えています。子どもたちは水槽を眺めるのが大好きです。



**ここを
クリック**

和邇小学校の
ホームページ

和邇小学校のホームページをご覧ください。子どもたちの様子を掲載しています。

学校だより「わにっこり」のバックナンバーは、和邇小学校のホームページから「**学校便り**」をクリック。

また、「**校長室より**」を開設しています。



第2弾 「発想の転換」

このコーナーは、子育てと子どもの幸せをサポートする情報を提供するニュースレターです。子育てのヒントやこれからの時代に大切にしたい教育の話、健康で幸せな生活に役立つ情報を掲載したいと考えています。これまで、「自尊感情を高めるために」と「子どものウェルビーイング」「未来への扉」というシリーズものを掲載してきましたが、今年度は「未来の宝物」と名づけました。子どもは「地域の宝」です。未来をたくましく生きる子どもたちにつけてほしい本当の力とはいったい何か、子どもが生涯にわたり幸せに生きていくには、周囲の大人はどんな関わりを大切にしていけば良いのかについて、共に考えていきたいと思います。

第2弾は「発想の転換」です。「Society5.0」(ソサエティー5.0)とは、平成28年に閣議決定された第五期科学技術基本計画の中で提唱されたもので、今後の教育や学びに大きく関わってくる大切なものです。Society5.0とは、狩猟社会(Society1.0)、農耕社会(Society2.0)、工業社会(Society3.0)、そして現代の情報社会(Society4.0)の次に訪れる新しい社会のことです。どんな社会かと言うと、「サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会」なのだそうです。たいへん難しい表現でしたので、私なりに次のように説明します。



学校のナンヨウハギ(ドリー)
本文との関連はありません。

現在の情報社会では、人がナビで検索して運転をしたり、人が情報を分析・提案したり、人の操作によりロボットが生産をしたりします。これが Society5.0では、自動車が AI により自動運転をするようになったり、人が情報を分析しなくても AI が人に提案をしてくれたり、工場で自動的にロボットが生産してくれたりするようになります。

現代社会のありとあらゆるものがセンサーやチップによってインターネットとつながり、その膨大な情報を AI が処理して、分かりやすく人間に提供してくれるようになります。そこに自動運転や機械による生産などといった高度な機械技術が融合して、現代社会における問題点をより効率よく解決しようとする手段が進歩します。そのような社会がもうすでに私たちの生活にきているということです。このように言うと、SF 映画の

ように AI やロボットに支配される社会のように感じるかもしれませんが、そうではありません。誰もが幸せに快適に生活できる、一人一人の人間が中心となる社会、それが Society5.0なのです。

では、このような社会を生きる子どもたちにとって、教育や学びはどうあるべきなのでしょう。端的に言うと、「一人一人の能力や適性に応じて個別最適化された学びの実現」が求められるようになります。読解力などの基礎的な学力を確実に習得させながら、個人の進度や能力、関心に応じた学びの場が変わっていきます。学習課題に応じた同年齢・異年齢集団での協働学習が取り入れられていきます。教室での学習から、外部の専門家・企業・研究機関やNPO等を活用した多様な学習へと変わっていきます。学校教育では、これまで積み上げた前例の踏襲をやめ、見直しを図ります。教師が教えるという発想から、子どもの興味・関心を中心に置いた学びを提供する努力が必要です。大きな「発想の転換」です。教科担任制の導入、通知表の前期・後期制、地域関係団体との協働活動、ゲストティーチャーの促進、和邇小サテライト教室、子ども発想の委員会などの改革を進めて参ります。学校が変わっていくことは決して簡単なことではありませんが、不確実な未来をたくましく幸せに生きていく子どもたちにつけてほしい力を模索していきます。Society5.0に向けた社会にとって必須といえるでしょう。



学校のスターポリプ(サンゴ)
本文との関連はありません。